

# EINISHI 2024



永犬丸西小学校屋上より

永犬丸西校区 第一次 ふくしのまちづくり計画  
～安心して暮らせる地域の絆 ふくしのまち永西～



# 2028

## ごあいさつ

永犬丸西校区社会福祉協議会は平成10年に「住み慣れたまちで安心して暮らしていきたい」という願いの実現を目指して設立され、四半世紀の間、身近なふれあいのある、地域の福祉向上を図る取り組みを進めてきました。

その間、少子高齢化や核家族化の進行に伴い、地域との関わりを持ちたがらない住民の増加や自治会の加入率低下など、昔ながらのご近所付き合いや助け合いの関係が希薄になってきています。また、永犬丸西校区では坂道が多い団地が特徴で一人暮らし高齢者には日常生活に不便を感じ、何らかの手助けを必要とする方も見受けられます。

今後地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を担う各種団体がもう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。

そこで、北九州市の地域福祉計画及び地域福祉活動計画と整合性を持ちながら、住民主導により地域福祉活動を進めるため、小地域福祉活動計画を策定し、そうした協議の場を設けることとしました。

策定にあたっては、自治会、まちづくり協議会、民生委員・児童委員、シニアクラブ、PTA、社会福祉協議会といった福祉の向上を目標とする団体に、小学校、市民センター、福祉施設を加え、オール永犬丸西校区で検討を重ねてまいりました。

計画の基本理念は「安心して暮らせる地域の絆ふくしのまち永西」として、人生100年時代と言われる超高齢化社会のなかで、永犬丸西校区の子どもから高齢者まで誰もがいきいきと生活できる校区を目指して活動を進めてまいります。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶いたします。

令和6(2024)年3月



永犬丸西校区社会福祉協議会  
会長 木下 義憲

## も く じ

	ページ
<b>第1章 計画策定にあたって</b>	<b>1</b>
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
<b>第2章 永犬丸西校区の現状と課題</b>	<b>2</b>
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
<b>第3章 計画体系</b>	<b>3</b>
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
<b>第4章 計画の推進</b>	<b>8</b>
1 地域への計画の周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
<b>参考資料</b>	<b>9</b>
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	

## 第1章 計画策定にあたって

### 1 計画の性格

#### (1) 住民発信の行動計画

この計画は、永犬丸西校区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や地域の団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための行動計画です。

#### (2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、永犬丸西校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

#### (3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

#### (4) 永犬丸西校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

### 2 計画の期間

令和6(2024)年度～令和10(2028)年度までの5ヵ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

### 3 計画の策定経過

永犬丸西校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、地域の福祉に関する計画を策定するため、永犬丸西校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、永犬丸西校区小地域福祉活動計画を策定しました。



## 第2章 永犬丸西校区の現状と課題

### 1 地域の特徴

出所:北九州市住民基本台帳

	平成 15(2003)年 9 月 30 日	平成 25(2013)年 9 月 30 日	令和 5 年(2023)年 9 月 30 日
世帯数	2,720 世帯	2,766 世帯	2,713 世帯
人口	6,559 人	5,959 人	5,712 人
14 歳以下	738 人(11.3%)	683 人(11.5%)	855 人(15.0%)
65 歳以上	1,934 人(29.5%)	2,241 人(37.7%)	2,062 人(36.1%)
小学校・中学校	永犬丸西小学校・永犬丸中学校		
市民センター	永犬丸西市民センター	地域包括支援センター	八幡西 2

永犬丸西校区は八幡西区の西部に位置し、中間市に隣接しています。

高度成長期に住宅地として開発が進んだ地域で、最寄りの三ヶ森電停から JR 黒崎駅まで 12 分（筑豊電鉄利用）、JR 小倉駅まで 40 分（筑豊電鉄・JR 利用）と比較的交通の便の良い地域です。

すり鉢状の地形にある住宅地で坂が多く、現在、校区内にスーパーマーケット等がないため、買い物は校区外（三ヶ森商店街等）に行く必要があります。車を持たない高齢者には負担となっています。

### 2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

#### (1) 多世代が交流する場が少なくなっている

永犬丸西校区では、地域との関わりを持ちたがらない住民が増え、地域活動の基盤組織である自治会への加入率も低下しています。

一方、小中学生やその保護者世代の住民は増えており、多世代が楽しく交流する機会を増やすことで、より多くの住民に地域に関心を持ってもらうことが重要になっています。

#### (2) 「ふくし」について共に学ぶ場を増やしたい

日ごろから挨拶を交わし、互いに見守り気遣い合ったりしている地域です。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ウェルクラブ活動の参加児童も少なくなっている中、「ふくし」を誰もが身近なものと考えることができるよう、子どもから大人まで共に学ぶ場を増やすことが求められています。

#### (3) ちょっとした困りごとを相談したり頼んだりできたら…

永犬丸西校区社協の福祉協力員の平均年齢は 73.3 歳（令和 5 年 4 月現在）と活動者の高齢化が進んでいます。

健康に不安を抱え支援を必要とする高齢者が増える中、ちょっとした困りごとを気軽に相談したり頼んだりできるしくみづくりが必要です。





## 第3章 計画体系

永犬丸西校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、取組みを定めました。

### 1 基本理念

「安心して暮らせる地域の絆 ふくしのまち永西」



西山池

### 2 基本目標

#### (1) 安全・安心は地域の目で守ろう！ ～㊦がおがあふれるまち～

地域の目で生活を守る取組みを継続できるよう、まち協や自治会等との連携を強め、安全・安心で笑顔があふれるまちを目指します。災害に備える取組みも進めます。

#### (2) 地域の福祉力を高め元気な街に！ ～㊧つまでも元気で暮らせるまち～

平成18年から取組んでいるウェルクラブ活動を継続し、思いやりの心や共に生きる力を育て、地域の福祉力を高めます。

住み慣れたまちで元気で暮らせるよう見守り訪問活動やサロン活動に取り組むとともに、講座や交流会、クラブ活動を充実します。

連絡調整会議では、地域の困りごとを共有しその解決に向けて話し合います。

#### (3) 多世代交流で地域の絆を深めよう！ ～㊨ここにこと集い学べるまち～

誰もが「ふくし」を身近なものと感じてもらえるような学びの場を増やすとともに、子どもや高齢者、子育て中の人や障害のある人も、参加しやすい・参加したくなる多世代交流の取組みを広げます。

#### (4) 住民同士のつながりを深めよう！ ～㊩らない人がいないまち～

地域住民同士の関わりあい・つながりあいを深めるために、地域に関心をもってもらえるような広報活動に努めます。また、より多くの人ができることを少しずつ出し合って、ちょっとした困りごとを相談したり頼んだりできる地域を目指します。



### 3 実施項目（体系図）

「基本理念」  安心して暮らせる地域の絆  ふくしのまち永西	[基本目標]	[5年間で実施する取組み]
	安全・安心は 地域の目で守ろう！  ～㊦がおが あふれるまち～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活安全パトロール（まち協）</li> <li>・防犯灯管理（自治会）</li> <li>・ゴミステーション管理と掲示物作製（自治会）</li> <li>・公園、河川の管理（まち協・自治会）</li> <li>・大雨、台風時の警戒区域在住者への声かけ（民児協）</li> <li>・青パト巡回（まち協）</li> <li>・防災訓練（まち協・自治会）</li> </ul>
	地域の福祉力を高め 元気な街に！  ～㊩つまでも元気で 暮らせるまち～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡調整会議（社協）</li> <li>・健康講座、高齢者向け講座                          （社協・まち協・市民センター）</li> <li>・高齢者訪問等による情報提供（社協・民児協）</li> <li>・行方不明高齢者搜索模擬訓練（社協）</li> <li>・ウェルクラブ活動（社協）</li> <li>・ふれあい昼食交流会（まち協）</li> <li>・買い物支援（民児協・社協）</li> <li>・サロン活動（社協）</li> <li>・一人暮らし高齢者への年賀状、暑中見舞い（社協）</li> <li>・高齢者見守り訪問活動（民児協・社協）</li> <li>・困りごとの把握と対応（社協）</li> </ul>
	多世代交流で 地域の絆を深めよう！  ～㊫ここにこと集い 学べるまち～	<p>【重】多世代が集う学びの場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センター講座（市民センター）</li> <li>・家庭教育学級（市民センター）</li> <li>・児童見守り（民児協・まち協）</li> <li>・町内での挨拶活動（社協）</li> <li>・グラウンドゴルフ大会、どんど焼き、餅つき大会、盆踊り大会（自治会）</li> <li>・永西まつり（まち協）</li> <li>・夏休みのラジオ体操（自治会）</li> <li>・三世代交流事業（社協）</li> <li>・防犯、防災出前講座（まち協）</li> <li>・子育てサポート活動（まち協）</li> <li>・青少年育成事業（まち協）</li> <li>・小中学校校長との意見交換（社協・民児協・まち協）</li> </ul>



<p>住民同士のつながりを 深めよう！</p> <p>～☺らない人が いないまち～</p>	<p>【重】もっとつながる取組みで知らない人がいないまちへ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙「きすな」発行（社協）</li> <li>・センターだより「永西の和」発行（市民センター）</li> <li>・会員増大キャンペーン（シニアクラブ）</li> <li>・町内一斉清掃（自治会）</li> <li>・防犯、防災出前講座（まち協）</li> <li>・市民センターを拠点としたクラブ活動（市民センター）</li> <li>・バスハイク（自治会）</li> <li>・自治会加入促進、転入者への挨拶と新会員歓迎会 (自治会)</li> <li>・子ども会（自治会・PTA）</li> <li>・登校時交通安全見守り活動（まち協・PTA・民児協）</li> <li>・ふれあい昼食交流会（まち協）</li> <li>・敬老会（自治会）</li> <li>・公民館、集会所の利用拡大（自治会）</li> </ul>
---	---

【重】は重点実施項目で、目標を達成するために特に力を入れて取り組む内容です。



## 4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係団体・機関と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次のことを推進していくことにしました。

重点実施項目	多世代が集う学びの場づくり							
1 課題背景及び地域の現状								
<p>挨拶を交わしたり見守り活動を行ったりしていますが、閉じこもりがちな人や認知症のある人もいて気になります。一方、小中学生やその保護者世代の住民が増え、地域に子ども達の明るい声が響く中、元気な高齢者もたくさんいます。そうした中、様々な講座・研修はあっても、多世代が集い共に学べる場は少ないのが現状です。</p>								
2 活動の方針・目標								
<p>ふくし(ふだんのくらしのしあわせ)について多世代が共に学ぶ場をつくるとともに地域の活動や行事を通じて、お互いに教えたり、教わったりすることで、子どもから大人までみんながいきいきと輝く地域を目指します。</p>								
3 段階的な取組みの年次計画								
取組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	備考	
アンケート調査	まち協・自治会 小学校・PTA シニアクラブ・子ども会	→					現在実施中の講座等を列記、それ以外の新しい企画を検討	
テーマの絞り込み 具体化を検討	まち協・自治会 小学校・PTA シニアクラブ・子ども会	→					具体的内容、頻度、場所、時間帯、講師等	
参加者を集める工夫・方法	まち協・自治会 小学校・PTA・民児協 シニアクラブ・子ども会		→				広報の仕方・SNS活用	
試験的実施と改善点の把握	まち協・自治会 小学校・PTA シニアクラブ・子ども会			→				
本格的な実施	まち協・自治会 小学校・PTA シニアクラブ・子ども会				→			
児童見守り	まち協・自治会 小学校・PTA・民児協 シニアクラブ・子ども会	→						見守り隊員の募集 体制づくり
あいさつ活動	まち協・自治会 小学校・PTA・民児協 シニアクラブ・子ども会	→						広報 交流活動から発進
多世代交流事業	まち協・自治会・民児協 小学校・PTA・保護者 シニアクラブ・子ども会 地区サロン・ウェルクラブ	→	→	→	→	→	サロンでの交流・ペタンク大会・クリスマス会・ミニ運動会・親子映画上映会	
永西まつりの活性化	まち協・市民センター クラブ協議会・PTA シニアクラブ	→	→	→	→	→		
施設体験交流	輪音庭・聖ヨゼフの園 八幡南幼稚園・民児協 八幡厚生病院	→	→	→	→	→		
次世代活動者の育成	小学校・まち協・自治会 市民センター・民児協	発掘 ○	発掘 ○	○				
事業PR活動	小学校・まち協・自治会 市民センター	→						広報紙・チラシ・声かけ





重点実施項目		もっとつながる取組みで知らない人がいないまちへ					
1 課題背景及び現状							
<p>行事は多くても目的や内容等があまり知られていなかったり、一部の活動者に負担がかかったりというような状況があります。自治会・町内会に入っていない人との交流がない、若い世代の地域への関心が薄いことも課題です。福祉協力員や民生委員・児童委員の活動は活発ですが、顔の見えるご近所さんに、ちょっとした困りごとを相談したり頼んだりすることが難しくなっています。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>魅力ある行事を続けていくことができるよう、より多くの人に知ってもらう工夫や、応援してくれる人や団体を増やす取組みを進めます。また、住民同士顔の見える関係づくりができるサロン等の身近な居場所づくり活動や、ちょっとした困りごとを相談したり頼んだりできるしくみづくりを検討します。</p>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	備考
自治会を知るための勉強会	まち協、自治会 民児協、福祉施設 小学校、PTA 市民センター	→	→	→	→	→	自治会加入のメリットや魅力について学び、わかりやすいチラシを作成
サロン等での自治会への加入案内	福祉協力員 民児協 サロン参加者	→	→	→	→	→	自治会のことを学んだ人が、サロンの参加者等に参加をよびかける
福祉協力員・シニアクラブ会員・町内会長との交流会	シニアクラブ 自治会・民児協 市民センター	検討	→	→	→	→	顔の見える関係をつくり気づいたことは適切につなげるようになる
回覧板ピンポン運動	福祉協力員 民児協 自治会	周知	→	→	→	→	回覧板をまわすときに玄関チャイムを鳴らし、困りごとがないかを聞く
広報カーの運行	まち協、自治会 市民センター	検討	→	→	→	→	センター祭り等をPR
住民参加型避難訓練	まち協、自治会 民児協、福祉施設 小学校、PTA 市民センター 消防団 シニアクラブ	R6 実行委員会立ち上げ R7 先進校(地)区の視察 R8 避難経路・危険個所の確認 R9 訓練計画づくり R10 住民参加型避難訓練の実施					
永西子育て支援OBクラブ	まち協、自治会 民児協、福祉施設 小学校、PTA 市民センター	R6 子育てサポーターと児童委員との交流・勉強会 R7 OBクラブ員の募集と研修会 R8~R10 モデル実施から本実施へ					



## 第4章 計画の推進

### 1 地域への計画の周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた校区住民への周知

### 2 計画を推進するための体制

#### (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、永犬丸西校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

#### (2) 計画の進行管理

永犬丸西校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催) 委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

#### (3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

### 3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料 【永犬丸西校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 永犬丸西校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	木下 義憲	永犬丸西校区社会福祉協議会	会長	
2	重光 輝博	永犬丸西校区社会福祉協議会	事務局長	
3	伊熊香代子	永犬丸西校区社会福祉協議会	会計	
4	石倉 廣夫	永犬丸西まちづくり協議会	会長	
5	橘 紀子	永犬丸西まちづくり協議会	事務局長	
6	田中 仁美	永犬丸西校区社会福祉協議会	副会長	
		永犬丸西地区民生委員児童委員協議会	会長	
7	井口 芳美	永犬丸西校区社会福祉協議会	FNW 部会長	
		永犬丸西地区民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	
8	竹内 真美	永犬丸西校区社会福祉協議会	福祉協力員	
		永犬丸西地区民生委員児童委員協議会	主任児童委員	
9	石橋 伸枝	永犬丸西校区社会福祉協議会	福祉協力員	
		永犬丸西地区民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	
10	伏原 春美	永犬丸西校区社会福祉協議会	福祉協力員	
		永犬丸西地区民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	
11	池上 秀美	永犬丸西校区社会福祉協議会	福祉協力員	
		永犬丸西地区民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	
12	吉村 謙吾	永犬丸西校区社会福祉協議会	広報部会長	
		永犬丸西地区民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	
13	岩熊 利幸	永犬丸西校区社会福祉協議会	地域交流・環境部会長	
14	原 喜納	永犬丸西校区シニアクラブ	会長	
15	田志真粧美	永犬丸西市民センター	館長	
16	吉田 幸治	永犬丸西校区社会福祉協議会	副会長	
		永犬丸南町自治区会	会長	
17	田中 秀明	永犬丸西校区社会福祉協議会	副会長	
		永犬丸西町自治区会	会長	
18	山本 清美	永犬丸西校区社会福祉協議会	副会長	
		鷹見台自治区会	副会長	
19	木寺 辰則	永犬丸西校区社会福祉協議会	副会長	
		永犬丸5町会	会長	
		永犬丸西地区民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	
20	森 健二郎	永犬丸西小学校	校長	
21	青木 将浩	永犬丸西小学校	PTA会長	
22	大元 直美	デイサービス輪音庭	施設長	



## 2 永犬丸西校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R 5 年 8 月 18 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小地域福祉活動計画とは</li> <li>・ 永犬丸西校区の現状把握</li> <li>・ 課題に対応できる既存事業、資源の洗い出し</li> </ul>
2	R 5 年 9 月 15 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体系図の作成 (今後 5 年間の活動整理)</li> </ul>
3	R 5 年 10 月 20 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体系図の作成と確認</li> </ul>
4	R 5 年 11 月 17 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重点実施項目の選定</li> <li>・ 重点実施項目の単年度計画作成</li> </ul>
5	R 5 年 12 月 15 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重点実施項目の単年度計画の確認</li> <li>・ 計画書及び概要版の部数等についての確認</li> </ul>
6	R 6 年 2 月 2 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画書及び概要版の構成、編集</li> </ul>







A series of horizontal dashed lines for handwriting practice, starting from the top right of the dinosaur illustration and extending across the page.





A series of horizontal dashed lines for handwriting practice, starting from the top right of the dinosaur illustration and extending across the page.



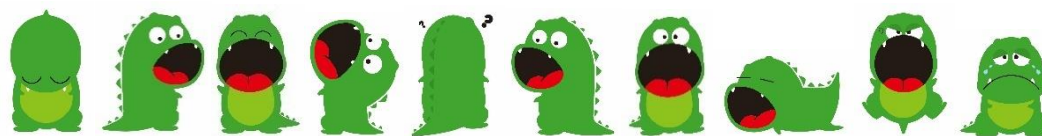


A series of horizontal dashed lines for handwriting practice, starting from the top right of the dinosaur illustration and extending across the page.



## 社会福祉協議会のイメージキャラクター

プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)



### お問合せ 永犬丸西校区社会福祉協議会

〒807-0852 北九州市八幡西区永犬丸西町 4-21-13 永犬丸西市民センター内  
TEL 093-692-5760 FAX 093-692-5761

### 八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階  
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

### 北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内  
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579  
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

